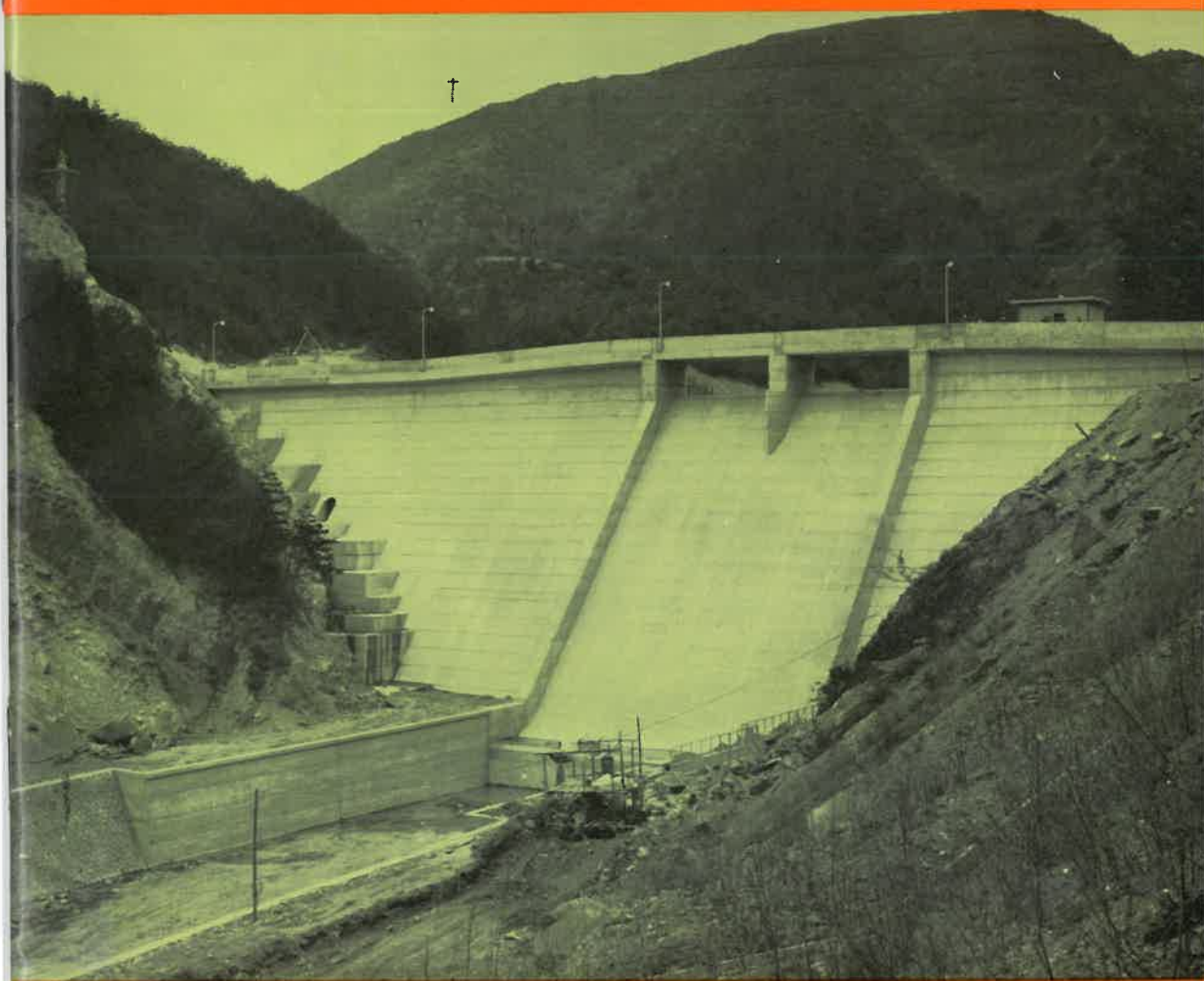


県営災害復旧事業  
初尾川地区概要



兵庫 県

県営災害復旧事業  
初尾川地区概要

昭和 43 年 3 月

兵 庫 県



初尾川ダム竣工記念碑

初尾川ダム規模概要	
河川	名式高長初尾川
堤型	洲木川文川初尾川
堤法	直線重力式コンクリートダム
堤長	非溢流部 30.40 <sup>m</sup> 溢流部 31.20 <sup>m</sup>
堤高	101.0 <sup>m</sup> (溢流部 20 <sup>m</sup> 非溢流部 81.0 <sup>m</sup> )
堤厚	首法 1.007 1.010 末法 1.083
堤容	24,300 <sup>m<sup>3</sup></sup>
堤基	3,218 <sup>m<sup>2</sup></sup> (3218 <sup>m<sup>2</sup></sup> )
堤基	0.0335 <sup>m<sup>2</sup></sup> (335 <sup>m<sup>2</sup></sup> )
堤基	25.80 <sup>m</sup>
堤基	16.00 <sup>m</sup>
堤基	302,000 <sup>m<sup>3</sup></sup>
堤基	230,000 <sup>m<sup>3</sup></sup>
堤基	68.1%
堤基	0.20%
堤基	165.0 <sup>m</sup>
堤基	2億6,400万円
堤基	昭和41年12月
堤基	昭和43年3月
堤基	兵庫県農林部建設課
堤基	初尾川農業水利建設事務所
堤基	◎株式会社
堤基	工事施工

# 1 事業の目的

洲本川の支流である初尾川上流、三原郡緑町中条中筋地区を中心に 165haの田畑をかんがいしていた金津張池・炭戸池及び鳴海池が昭和40年9月16日の集中豪雨（既往最高、最大時間雨量95.2mm）による異状洪水が発生し、重ね池であった前記3ヶ所のため池が欠壊したので県営災害復旧事業として昭和40年12月に査定を受け、金津張池の下流約 200mの地点に統合ダムを築き、地区農業生産の安定を計るものである。

## 2 計画の概要

### ① 受益面積及び農家戸数

受益面積 165 ha                      受益農家戸数 90戸

### ② 計画貯水量 302,000m<sup>3</sup>

欠壊ため池貯水量 302,000m<sup>3</sup>

推定堆砂量 65,000m<sup>3</sup>

林道工事捨土量 9,000m<sup>3</sup>

位置変更による増加量 -74,368m<sup>3</sup>

計 ≡ 302,000m<sup>3</sup>

ただし 上記貯水位は E L 117.00mである

### ③ ダム計画

#### (a) ダム諸元

形式 直線式重力コンクリートダム

規模

堤高 30.4m

堤長 101.0m

前法 0.07                      後法 0.83

余水吐

計画洪水量 68.1m<sup>3</sup>/sec (既往最大雨量 95.2mm/hr)

型式 自然越流式

巾員 10m                      越流水深 1.4m × 之連

取水工 取水塔 1ヶ所

最大取水量 0.20m<sup>3</sup>/sec

内径 500mm 1門

内径 300mm 4門

減勢工 フリップ方式

貯水量 302.000m<sup>3</sup> (有効貯水量230.000m<sup>3</sup>)  
 その他  
 流域 3.218Km<sup>2</sup>  
 湧水量 0.0077m<sup>3</sup>/sec-Km<sup>2</sup>  
 既往最大降雨量 361.6mm/day (95.2mm/hr)

④ 道路工事諸元

資材運搬道路 巾員 6.0m  
 延長 2.985m  
 付替林道 巾員 3.6m  
 延長 732m

3 工事着手及び完了の時期

着工 昭和40年度  
 完了 昭和42年度

4 工事の経過

昭和40年度

- ダム予定地・資材運搬道路の測量及び地質調査
- 全体設計の作成

昭和41年度

- 資材運搬道路として広田～中筋部落間の町道を6.0mに拡巾及びダム地点まで道路新設
- 付替林道 652mを施行完了
- 本体工事を12月24日に契約し直ちに半川締切を行ない右岸側より掘削開始仮設完了

昭和42年度

- ダム基礎掘削 コンクリート打設開始
- 6月14日定礎式挙行
- グラウト工事、ゲート工事を施行完了
- 43年3月11日 堤体内仮排水路の閉塞完了貯水開始
- 43年3月31日 全工事完了

事業費一覧表

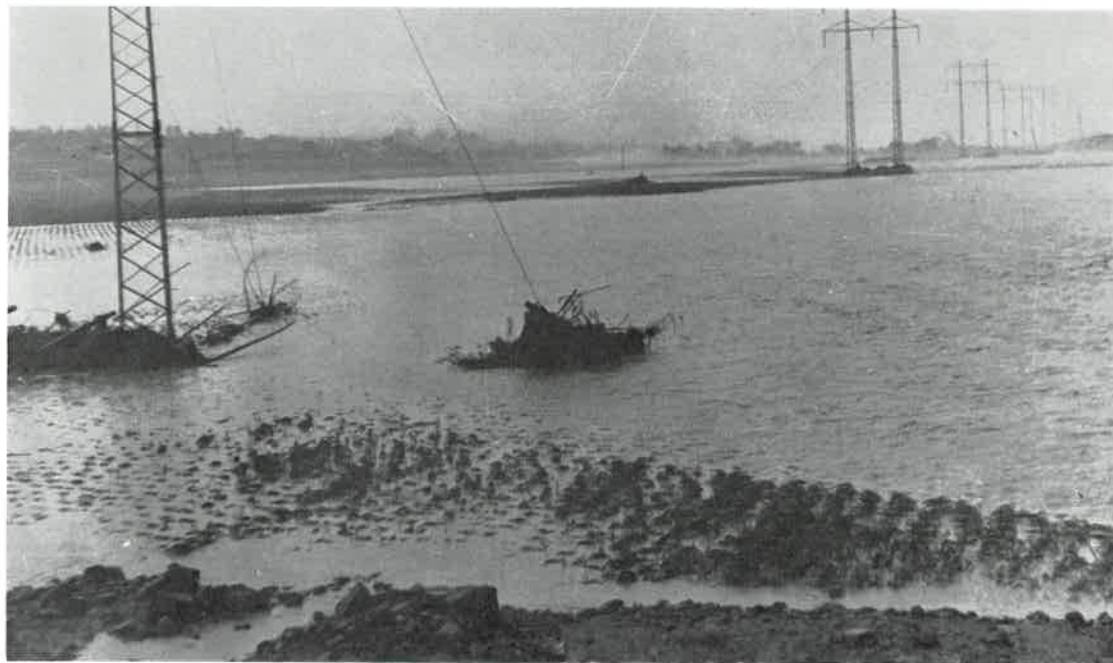
費目	全		昭和40年度		昭和41年度		昭和42年度	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
ダム築造工事	掘削 13.088m <sup>3</sup> コンクリート 24.349m <sup>3</sup>	285,120,000		—	ダム基礎掘削 仮設備	32,862,000	コンクリート 24.349m <sup>3</sup>	252,258,090
道路工事	ℓ = 3637m	29,923,000		—	ℓ = 3637m	29,675,000	法面保護工	248,000
測量及試験費		6,200,000		3,000,000		3,200,000		—
用地費その他		7,395,200		—		7,100,000		295,200
工事雑費		4,877,800		—		1,308,000		3,569,800
事務雑費		4,648,000		—		1,077,000		3,571,000
計		338,164,000		3,000,000		75,222,000		259,942,000
災害		295,440,000		2,827,000		65,850,000		226,763,000
関連		32,495,000		173,000		7,076,000		25,246,000
受託		10,229,000		—		2,296,000		7,933,000



(イ) 欠壊した土えん堤（点線は被災前の堤頂）



(ロ) 冠水した田畑



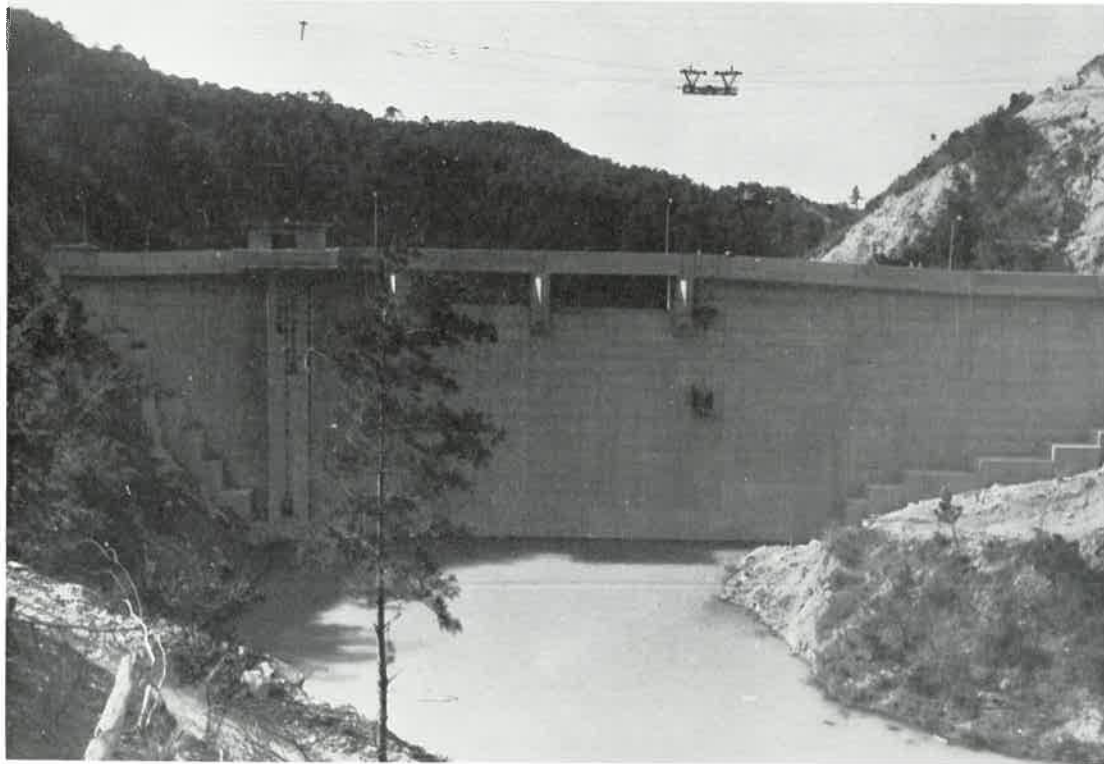
(ハ) 濁流との闘い





完成したダム本体

上  
(イ) 平流側全景



下  
(ロ) 主流側全景



定礎式

1967年6月14日挙行

定礎

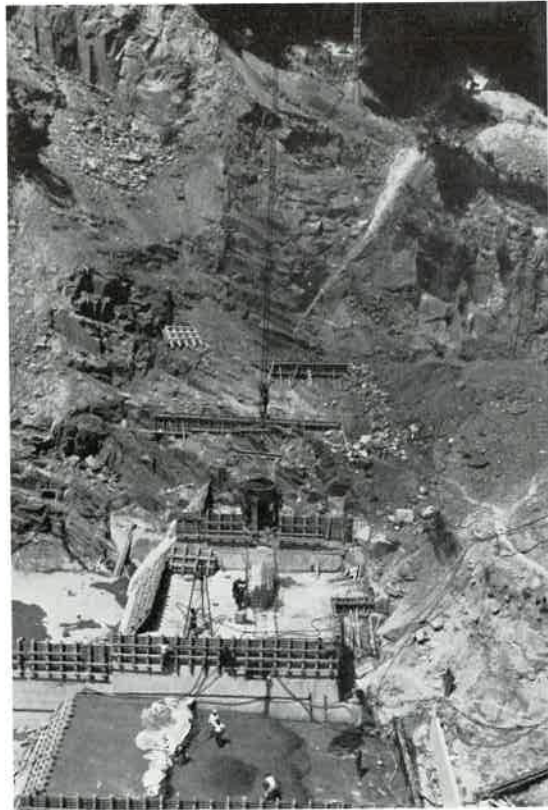




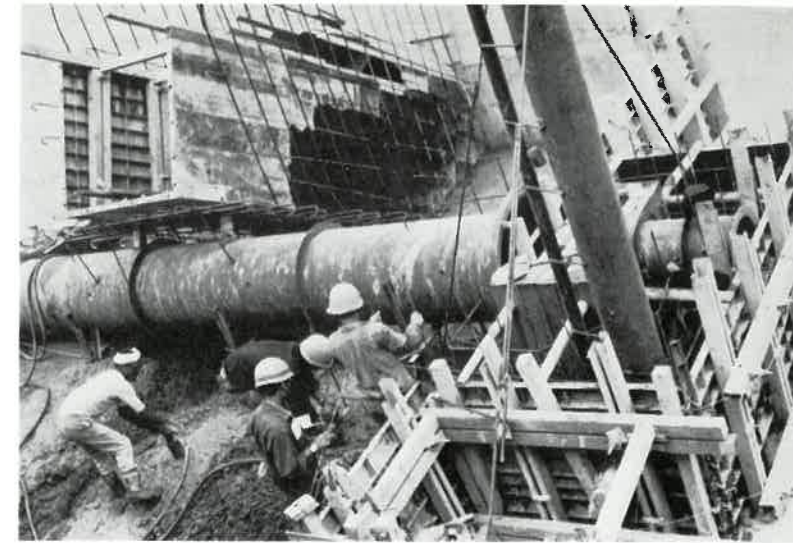
コンクリート打設状況

1967年6月

コンクリート打設量 3,000 $m^3$



コンクリート  
打設状況



1967年7月

コンクリート打設量 6,000 $m^3$





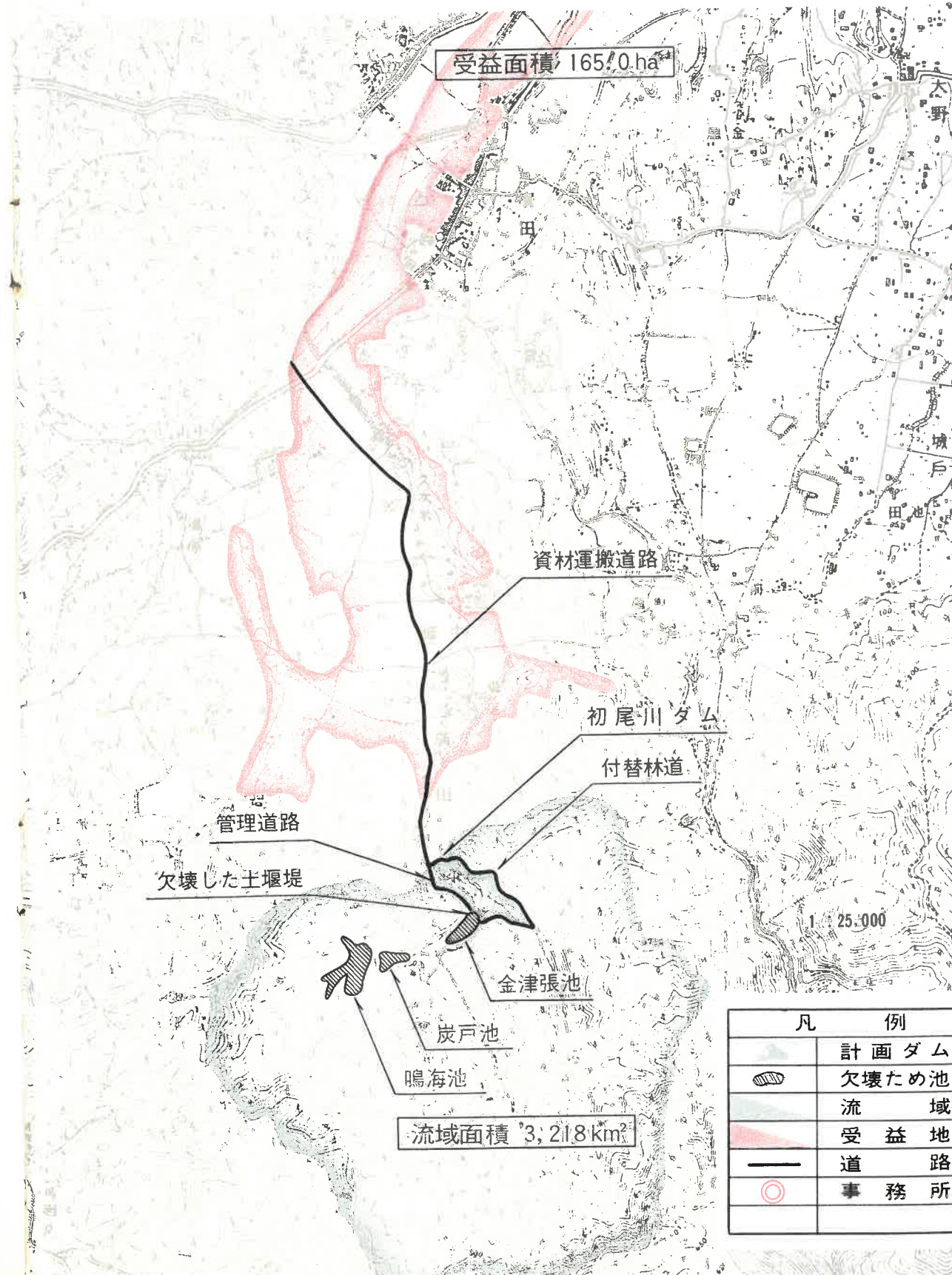


コンソリデーション  
グラウト工施工状況



越流部通路橋  
PS桁架設作業

# 県営災害復旧事業初尾川地区計画一般図



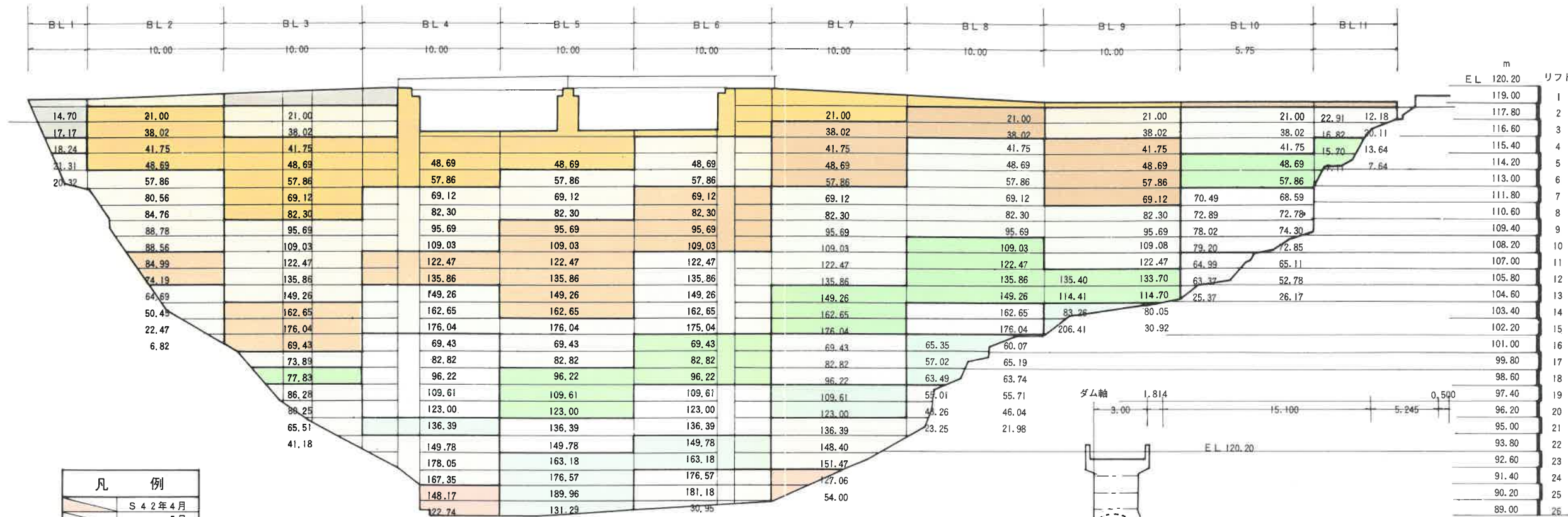
工事施工状況表

工種	数量	40年度			41年度			42年度												
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
調査設計	地質調査 測量設計																			
資材運搬道路	幅 6.0m ℓ = 2,985m																			
付替村道工事	幅 3.6m ℓ = 732m																			
法面保護工事	種子吹付 1,600m <sup>2</sup> ハイゼックスネット 344m <sup>2</sup> モルタル吹付 642m <sup>2</sup>																			
ダム築造工事																				
1. 掘削工事	土石 5,842m <sup>3</sup> 岩 7,247m <sup>3</sup>																			
2. コンクリート打設	コンクリート 24,349m <sup>3</sup>																			
3. 余水吐	スパン 10m 2門																			
4. 照明設備	250w水銀灯5基 蛍光灯 9ヶ																			
5. 取水塔	1,0ヶ所																			
6. 下流護岸	擁壁 1,290m <sup>3</sup> 擁壁 60m																			
7. 仮設	1,0式																			
8. 撤去清掃	1,0式																			
グラウト工事	ℓ = 1,885m																			
ゲート工事	スループゲート φ 500mm 1門 φ 300mm 4門																			

初尾川ダム設計図

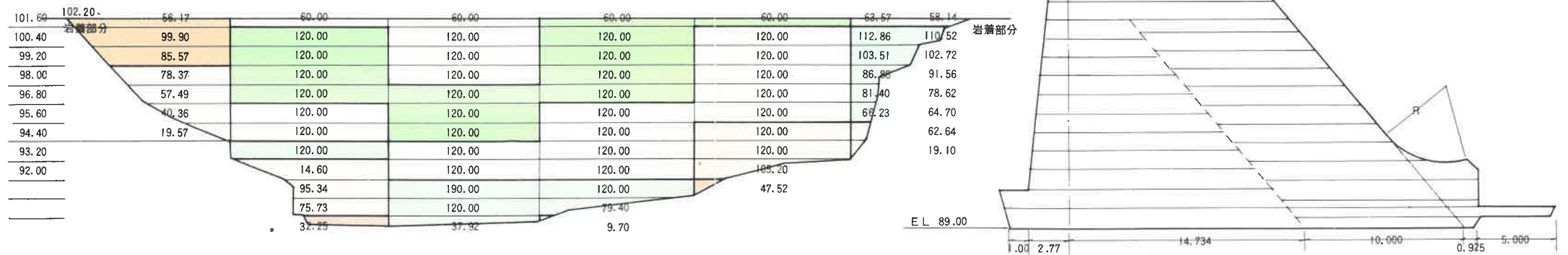


# BLOCK A 縦断面図 1:200



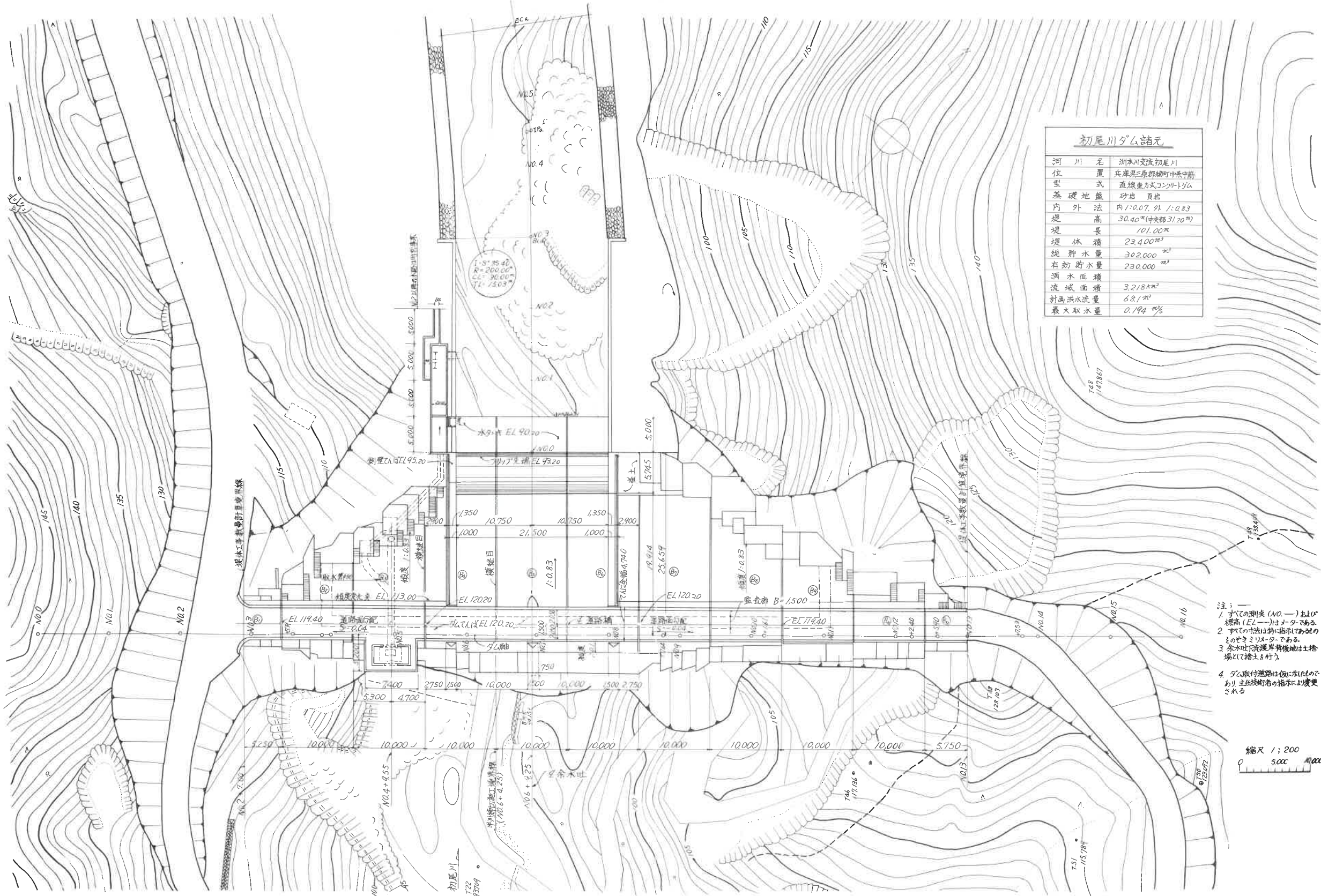
凡 例	
	S 4 2年 4月
	5月
	6月
	7月
	8月
	9月
	10月
	11月
	12月
	S 4 3年 1月
	2月
	3月

# BLOCK B 縦断面図 1:200





# 堤体平面図



初尾川ダム諸元	
河川名	洲本川支流初尾川
位置	兵庫県三原郡緑町中条中村
型式	直線重力式コンクリートダム
基礎地盤	砂岩 頁岩
内外法	内1:0.07, 外1:0.83
堤高	30.40m(中央部31.20m)
堤長	101.00m
堤体積	23,400m <sup>3</sup>
純貯水量	302,000 m <sup>3</sup>
有効貯水量	230,000 m <sup>3</sup>
満水面積	
流域面積	3,218km <sup>2</sup>
計画洪水流量	68.1m <sup>3</sup> /s
最大取水流量	0.194 m <sup>3</sup> /s

- 注：—
1. すべての測点 (NO.—) はこの標高 (EL—) はメータである。
  2. すべての寸法は物指し図のこの寸法ミリメートルである。
  3. 余水吐流護岸背後地は土捨場にて捨土を行う。
  4. ダム取付道路は仮に示しているが、あり主技術者の指示にお変更される。

縮尺 1:200  
0 500 1000

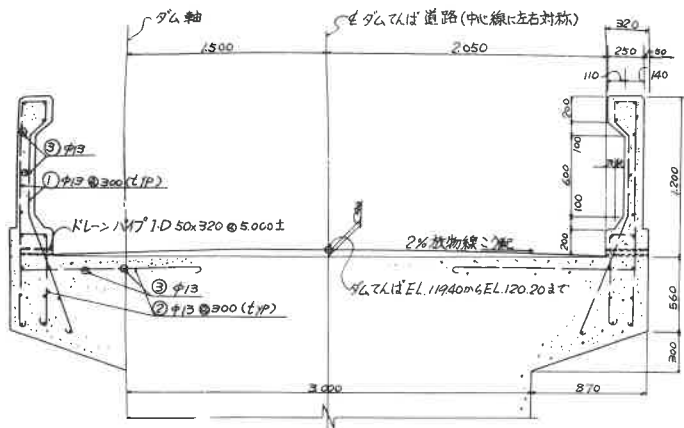








# 堤体標準断面図

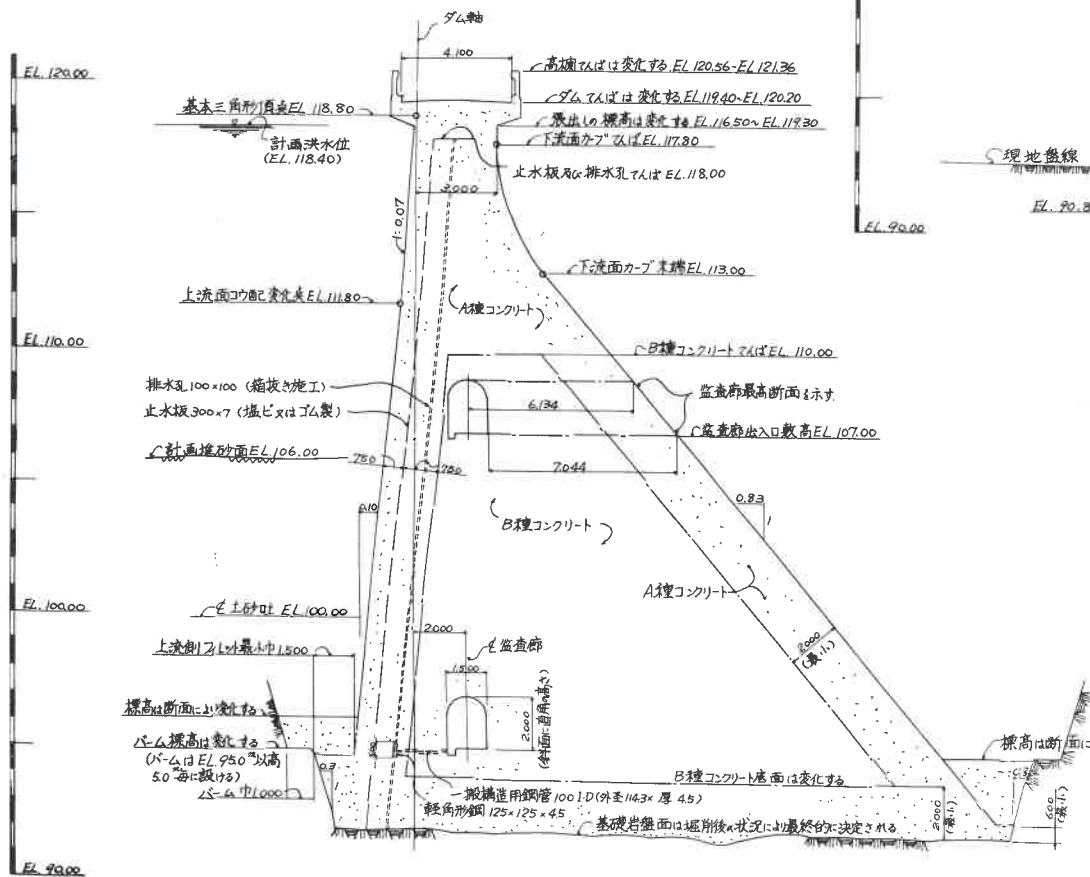


非溢流部頂道路詳細図

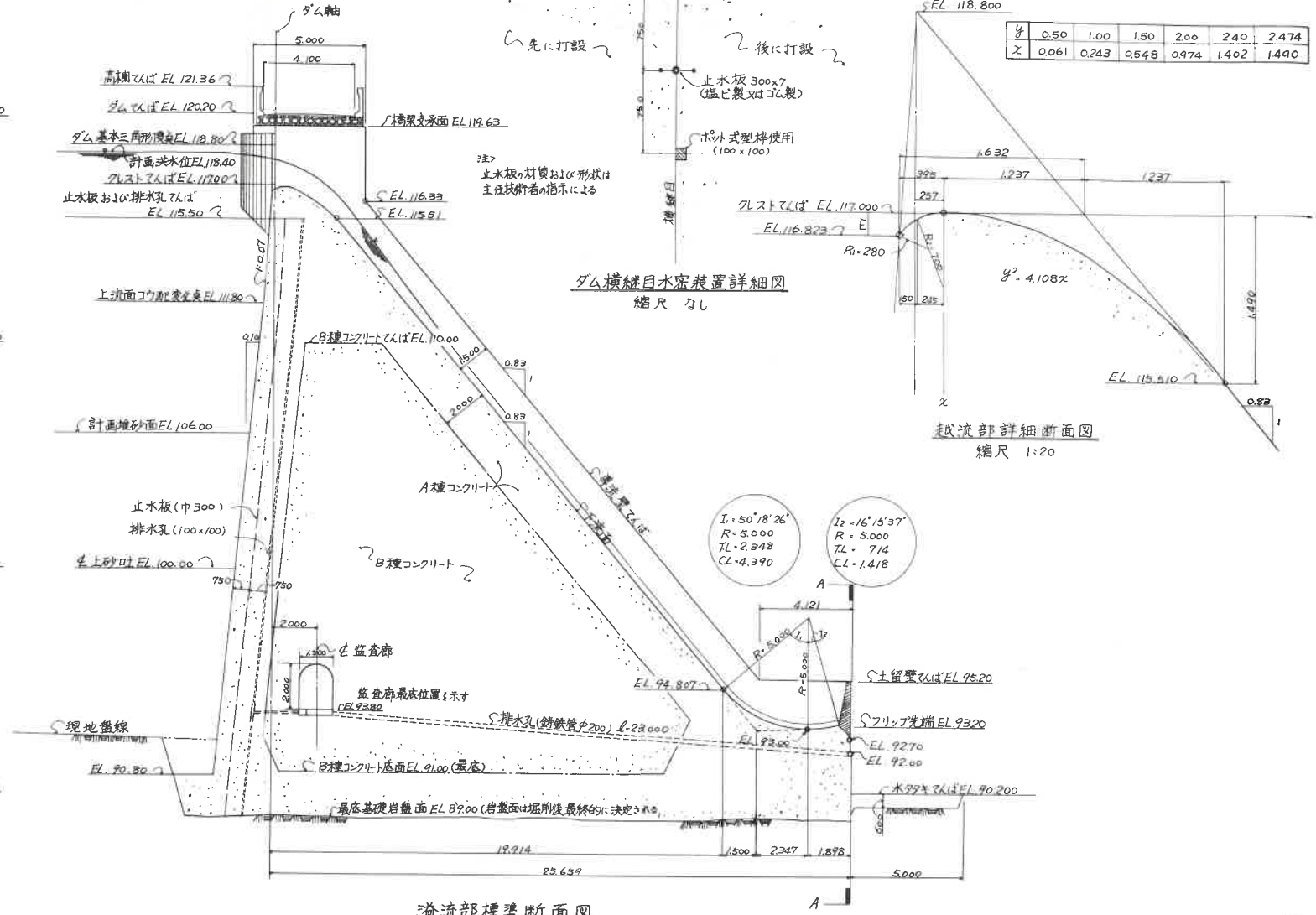
縮尺 1:20  
12000

非溢流部詳細 - 鉄筋計算表 (10'当り10'換算)

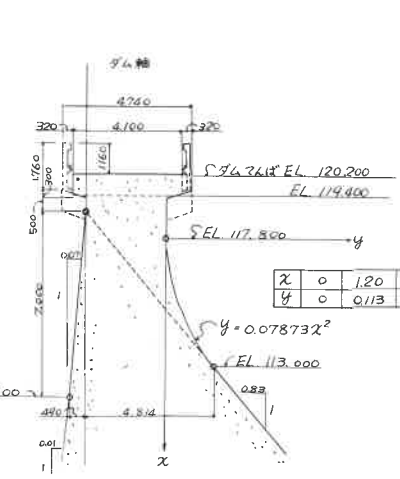
筋種	径	長さ	本数	重量	合計			
1	φ13	3.72	0.24	3.96	1.04	4.12	33.2	271.92
2	φ13	2.33	0.24	2.57	2.67	53.2	176.22	
3	φ13	10.00	0.48	10.91	11.35	18.2	408.60	
計								856.74
総量								6871.05



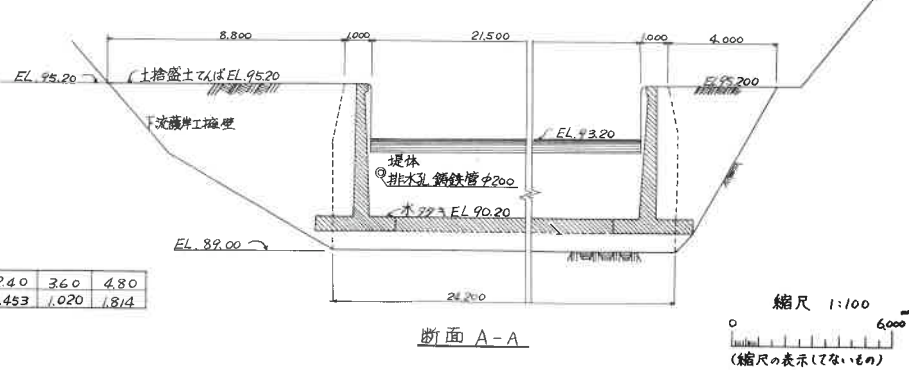
非溢流部標準断面図



溢流部標準断面図



非溢流部頂部詳細図



断面 A-A

縮尺 1:100  
6000  
(縮尺の表示でないもの)

- 注:
- すべての標高(EL)はメーターである。
  - すべての寸法は特に示さない限りミリメートルである。
  - カーテングラウト、コンクリート・ジョイントグラウト等およびドレーンホールの表示は省略する (主任技術者の指示による)